

移による湿原の減少が多くの文献で指摘されていることが印象に残った。

Moore 博士は現在ミカヅキグサ属の遺伝子解析を行っている。日本の種も研究したいとのことで、昨年の秋に筆者に資料を送って欲しいと依頼がきた。その時は時期が遅すぎて十分な資料が送れなかったため、今年はもっと多くの資料を採集して送ろうと思っている。

ご案内いただいた Moore 博士、楽しい旅にしてくれた参加者の皆様、およびご自身が実施されたロングアイランドの植生調査の報告書をご恵みいただいた井上香世子氏に厚くお礼申し上げたい。

文 献

Collins, B. R. & Anderson, K. H. 1994. Plant

Communities of New Jersey. Rutgers University Press, New Brunswick.

Forman, R. T. T. (ed.) 1998. Pine Barrens: Ecosystem and Landscape, revised ed. Rutgers University Press, New Brunswick.

New York-New Jersey Trail Conference. 1998. New Jersey Walk Book. New York-New Jersey Trail Conference, New York.

Pettigrew, L. 1998. New Jersey Wildlife Viewing Guide. Falcon Publishing, Helena.

下田路子. 1993. アメリカ合衆国北東部の湿地を訪ねて. 水草研究会報 49: 5-11.

Walter, E. 1996. The Smithsonian Guides to Natural America. The Mid-Atlantic States. Smithsonian Books, Washington, D.C.

水草研究会第22回全国集会（最終案内）

- 講演プログラムに一部追加があります。
- エクスカーションの解散は午後 3 時～3 時30 分に JR 宇都宮駅です。

日 時：2000 年 8 月19日（土）～20日（日）
 会 場：宇都宮大学国際学部 E棟 2 F1253教室
 （〒321-0943 宇都宮市峰町）
 宇都宮駅よりバス10分、徒歩15～20分

☆☆☆ 講演プログラム ☆☆☆

1. 神谷 要・国井秀伸：汽水性沈水植物リュウノヒゲモ (*Potamogeton pectinatus* L.) に与える水鳥の影響
2. 薄葉 満：尾瀬沼の水草相 1999
3. 櫻井善文・片桐浩司・大串弘哉：美々川流域の水生植物
4. 角野康郎：兵庫県加古川における過去11年間の水生植物相の変遷 (1987～1998)

5. 中村幸次：宇都宮市域における多自然型川づくりの現状
6. 関岡裕明・下田路子・中本 学：中池見における水田雑草保全の取り組み—3年間のまとめ
7. 木部直美・百瀬 浩・藤原宣夫：植栽基盤を水中に沈めた人工生態礁における水生植物の生育
8. 桜井善雄：長良川河口堰上流におけるヨシ群落の枯死とその復元について—事例紹介
9. 野口達也：栃木県の水生植物～エクスカーションの案内をかねて～

参加申込

〒321-0953 宇都宮市東宿郷 6 - 7 - 10
 野口 達也
 FAX 0286-34-4175